

第17回理事会を開催

— 4団体の新規入会、周辺まちづくり提案に関する意見集約などを決議 —

2025年 9月 9日

一般社団法人渋谷再開発協会

一般社団法人渋谷再開発協会（以下、渋谷再開発協会）では、2025年9月9日、第17回拡大理事会を開催しました。拡大理事会は、理事のほか、関係する方々出席のもと、「理事会」と「その他事項」の二部構成で開催しました。

第一部の「理事会」では、第1号議案で、会員の入退会について審議し、新たに4団体の加入を決議しました。これで当協会は会員数117（特別会員含む）団体となりました。次に第2号議案では周辺土地のまちづくり計画に関連して、渋谷再開発協会が会員に対して情報提供し意見集約を図ることを決議しました。第3号議案では、東京都産業労働局が公募した「ナイトタイム観光推進エリアの創出事業」に渋谷エリアが採択されたことを受け、渋谷区や地域関係団体で組成された「渋谷カルチャーディストリクト協議会」への参画に関する報告をしました。

第二部では、第2号議案に関するグループディスカッションおよび意見交換を行いました。その後、調査機関および金融機関より、まちづくりへのデータ活用可能性についてプレゼンテーションがあり、まちづくりにどのようなデータが活用できるかグループディスカッションおよび意見交換を行いました。

引き続き、関係者の皆さまと産学官民にて長期的視点に基づき渋谷駅周辺地域のまちづくり活性化につながる議論を進めてまいります。



理事会の様子



データ活用プレゼンテーション

【参考】一般社団法人渋谷再開発協会 概要

1964年に前進の「渋谷再開発促進協議会」が設立され、1972年に現在の名称へ変更、2021年に一般社団法人化。渋谷駅周辺地域の将来像(ビジョン)を描き、長期的視点による都市再生の促進やまちに訪れる人々の活動のための場づくりを通して、職・住・遊における高い暮らしの質を実現し、サステナブルな歩いて楽しいまちづくりを推進。現在、約117団体・企業が加盟し活動。